

TASUC早稲田教室（放課後等デイサービス） 事業所における自己評価結果(公表)

令和6年2月調査 ○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2			
	2 職員の配置数は適切であるか	4				
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4				
業務改善	4 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			朝礼やプログラム終了後のミーティングを実施。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4				
	6 この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2		法人本部からの視察を受けて、評価改善している。	第三者評価については、法人本部と連携して検討している。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4					
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			ご家族や本人と定期的に面談を行い、どんなふうになりたいのか？本人にとって大切な作業や困っていることは何かを、聞き取った上で目標を立てている。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1		SPやvineland-IIを用いることがある。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行なっているか	4				
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			運動メニューの変更や季節のイベントなどを定期的に開催している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4				
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			終了後には必ずミーティングを開き、ご家族やご本人の様子を指導ターゲットと合わせながら共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4				
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			6か月に1度はIEPの作成・説明を行い、就学や卒業、引っ越しなど環境の変化に応じて、モニタリングを行い計画の見直しを行なっている。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	1				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4				
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	1		保護者を通じて学校との連携を図っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4			現在受け入れをしていない。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2		電話や保護者を通じての資料提供により情報共有を行っている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1		電話や保護者を通じての資料提供により情報共有を行っている。また、支援者会議も適宜開催している。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	2	2		研修案内があった場合は、できる限り調整して参加している。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2		兄弟児童がプログラムに参加することがある。地域のお子さんが参加できる保護者と協力したウォーキング活動を定期的に開催している。	地域の学童や児童館などにも、開催案内を届ける。定期的にHPに掲載する。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	4			主催研修会などに参加している。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			できている点や困っている点など、ご家族と定期的に話し合う場を設けている。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4			月一回の保護者学習会を実施している。療育は保護者同席の機会を設け、支援のポイントや家庭療育のサポートを行なっている。		
保護者への説明責任等	30 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約書や重要事項説明書を用いて、必要であれば資料を取り寄せて説明を行なっている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4				
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4				
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1			
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			月間予定表やブログなどを通して活動内容についてアナウンスしている。	
	35 個人情報の取扱いに十分注意しているか	4				
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4				
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1			
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	1		年に二回以上の避難訓練をおこなっている。感染症対策のお知らせなどを掲示している。	
39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			年に二回以上の避難訓練（地震を想定）を行い、避難経路や防災倉庫の確認や、非常食試食なども行なっている。		
非常時等の対応	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			新宿区の虐待防止研修を受講している。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1		保護者同席の機会を設け、実態を把握していただくようになっている。身体拘束を行うことは極めて低く、必要な場合が想定される場合は事前に説明と了承を得て、計画に記載するようになっている。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			基本的には食事提供は行っていない。お菓子など食べる場合は持参してもらったり、保護者がいる場面で接触するようになっている。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	2		ヒヤリハットがあった場合は、蓄積しており、必要な時に見られるようになっている。リスクがある場合は、事前の打ち合わせ時に情報共有している。	